

令和 7 年度 仙台 BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業  
自治体提供課題詳細

タイトル	仙台市の 3D 都市モデルの防災分野で利活用
提供自治体名	宮城県仙台市
掲載期限	令和 7 年 8 月 29 日まで

1. 解決したい課題の背景

- ・ 国土交通省が主導する「Project PLATEAU（プラトー）」では、日本全国の 3D 都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を進めている。3D 都市モデルとは、航空測量等に基づき取得したデータを活用して建物等を三次元で生成したもので、令和 6 年度末には全国で約 250 都市がオープンデータ化されている。
- ・ 令和 5 年 4 月に、県内初となる本市の 3D 都市モデルがオープンデータ化され、都市活動のシミュレーションや分析など、幅広い利活用がどなたでも可能となった。オープンデータ化以降、各種ユースケース開発に活用されてきてはいるが、防災関連分野での利活用をさらに加速化していきたい。

2. 実現したいこと

- ・ 仙台市の 3D 都市モデルを、防災関連課題の解決に活用したい。

3. 想定している技術（こだわらない場合はその旨を記載）

- ・ ソフトウェアを想定しているが、特にこだわらない。

4. 希望する実証時期・実証場所（現時点の想定）

- ・ 特になし。

5. その他制約事項・補足事項（関連ホームページ等）

- ・ 3D 都市モデルについて（仙台市 HP）
- ・ Project PLATEAU について